

2026年度

島根大学大学院人間社会科学研究科修士課程

社会創成専攻 人文社会コース

(第2次) 入試問題

【 文化交流論 】

(外国人留学生特別入試)

注 意

- 1 問題紙 4 ページ, 解答用紙 3 枚, 下書き用紙 3 枚である。
- 2 指示があつてから確認し, 解答用紙の所定の欄に受験番号を記入すること。
- 3 解答は, 解答用紙に清書すること。
- 4 問題紙, 下書き用紙は, 持ち帰ること。

- 1 次の文章を読んで、後の問い（問1～問3）に答えなさい。

（この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。）

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(中村桃子『ことばとフェミニズム』1995より、一部改変)

- 問1 フェミニズム運動は、言語に関してどのような影響を与えてきたのか、本文の内容を踏まえて説明しなさい。
- 問2 「女としての意識」および「男としての意識」を形成する過程で、言語が大きな役割を果たしているとはどういうことか、自ら考えた具体例を挙げて説明をしなさい。
- 問3 言語とジェンダーおよびそれに関する学術研究についてのあなたの考えを、論理的に記述しなさい。

- 2 次の文章の内容を日本語で簡潔に説明しなさい。

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(Juul, Jesper. *half-real*, 2005 より一部改変)